

世界のウチナーンチュを通した平和啓発交流事業（学生交流）

参加者募集要項

1. 事業の目的

次世代を担う若者が戦争・移民の歴史を学び、また沖縄からの移民の歴史のある海外の地域において平和啓発に繋がる交流事業を実施し、沖縄戦の教訓及び移民の歴史等を次世代に継承するとともに、平和を希求する「沖縄のこころ」を広く発信することを目的とする事業です。

2. 派遣地域・テーマ

◎派遣地域：パラオ共和国

◎主なテーマ：戦争と海外移民の歴史の学習、移民先地域との交流

3. 派遣時期・期間

令和7年9月中旬～（5泊程度）

4. プログラム内容

	主なプログラム（予定）
事前研修 （右のプログラムは現在検討中であり、決定事項ではありません）	8月以降に2回実施する。 (ア) 沖縄移民の歴史学習、ワークショップ。 (イ) 現地での交流内容検討、準備、役割分担など。 (ウ) パラオ共和国についての下調べ（現地とWEBでつないで事前の意見交換など）
派遣中 （右のプログラムは現在検討中であり、決定事項ではありません）	対象者をパラオ共和国に派遣し、以下の活動を行う。 (ア) 沖縄県の移民の歴史、現在の課題、未来について現地の県系人や現地学生等との交流をまじえて学び、話し合う。 (イ) 現地に残る戦跡等を視察し、戦争の歴史、平和について考える。 (ウ) 相互理解促進のための現地の生活環境の視察・体験や文化交流を実施する（パラオ共和国を学ぶとともに、沖縄県側の紹介も行う）。 (エ) 帰国後、移民の歴史や現地での経験を出身校やメディア等を通して伝えるための情報・素材収集を行う。
事後研修	派遣地域での体験、交流を通じた内容を振り返るとともに、出身校等での報告やメディアでの広報準備、並びに将来に向けた取組・活動ができるよう、帰国後に事後研修を1回実施する。
成果報告会	11月以降、適宜、派遣で得た成果を県内で報告・広報する。

※ プログラム中はグループ行動を行い、ロジコーディネーター等が沖縄から同行します。海外では通訳者を1名配置します。

※ 派遣地域での宿泊は原則ホテルとし、複数名での相部屋となります。

5. 募集対象・人数

沖縄県内に在住し、県内高校に在学中の高校1～2年生 10名

6. 応募要件

- ① 平和学習、移民の歴史に対して関心を持つ者
- ② 国内外の方と積極的にコミュニケーションを取り交流する意欲のある者

- ③ 他人の価値観を尊重し、集団生活が可能な者
- ④ 何事にも目標を持って行動し、広い視野を持って前向きに取り組む者
- ⑤ 事前研修から成果報告会までの全てのプログラムに参加できる者（全てのプログラムに耐える体力と精神力を持つ者）
- ⑥ 海外派遣の経験・成果を周囲の人々に伝えていく意思のある者

7. 応募方法等

(1) 応募書類

- ① 推薦書（様式 1）
- ② 参加申込書（様式 2）
- ③ 作文
 - (ア) 『世界のウチナーンチュと沖縄県民が共にできること』を題として、あなたの考えを自由に記述してください。なお、「世界のウチナーンチュ」は今回派遣予定のパラオ共和国に限定する必要はありません。
 - (イ) パソコンを用いて A 4 用紙に 1,000 字以内で作成してください。パソコンでの作成が難しい場合は原稿用紙に手書きで作成してください。

(2) 提出期限

令和 7 年 7 月 2 日（水）必着

(3) 送付先

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2

沖縄県 文化観光スポーツ部 交流推進課（担当：新里）

※ 応募書類は、必ず簡易書留郵便により郵送して下さい。持参による出願は原則認めません。

※ 提出された資料は、参加者の選考のために使用するほか、プログラムを運営するために使用します。また、それらの情報は、前述の理由により、他の参加者、委託業者、派遣地域等の関係者に提供することがあります。収集した情報は、使用目的の範囲内で適切に取り扱います。

※ 提出された応募書類の返却は対応致しかねますので、あらかじめご了承ください。

8. 沖縄県による選考、通知方法等

(1) 選考方法

応募書類に基づく 1 次審査（書類）と 2 次審査（面接（書類審査合格者のみ））を経て、最終合格者を決定します。なお、派遣後に参加者在籍校において実施される報告会及び出前講座の実施可否を選考の参考とする場合があります。

結果通知は、担当教諭及び各学校長あてに連絡します。（書類審査結果通知から面接審査までの期間が短いのでご注意ください。）

(2) 選考スケジュール

- ① 1 次審査（書類）結果通知：令和 7 年 7 月 8 日（金）予定

※ 面接審査対象者のみに通知します。



- ② 面接審査：令和 7 年 7 月 17 日、18 日、22 日の 3 日間のうちいずれかの日程

※ 書類審査結果通知（合格者のみ）と合わせて詳細を連絡します。

※ 原則として個別の日程調整は行いません。



- ③ 最終結果通知：令和7年7月末までに、各学校長あてに通知。

※ 合格者でパスポートを持っていない方は、速やかにパスポートの申請を行っていただくようお願いいたします。

(3) その他

- ① 面接はすべてオンラインでの実施を予定しております。オンライン面接にかかる応募者側の場所確保や通信料等は応募者の自己負担となります。

9. 費用及び保険

(1) 事前・事後研修及び成果報告会の参加にかかる費用

- ① 自宅から研修所までの交通費は沖縄県の規定に基づき県が負担します。
- ② 離島在住者は、最寄りの空港・港から那覇空港又は本島の港までの往復航空賃又は船賃を沖縄県の規定に基づき県が負担します。ただし、自宅と最寄りの空港・港の往復交通費は参加者の自己負担となります。
- ③ 離島在住者は、研修のため前泊又は後泊がやむを得ないと認められる場合、当該宿泊費の実費を県が1泊9,800円を上限に負担することができます（領収証の提出が必要）。
- ④ 研修時の食費は自己負担となります。

(2) 派遣期間中にかかる費用

- ① 往復の航空賃（離島地域からの航空賃含む）及び宿泊費（朝食代含む）、旅行保険、現地体験等参加費など、プログラムを進める上で必要となる費用は沖縄県が負担します。
※離島在住者が那覇空港又は港の発着時間により前泊及び後泊が発生する場合は、当該宿泊費の実費を県が1泊9,800円を上限に負担することができます（領収証の提出が必要）。離島在住者で本島内の親族宅等に宿泊可能な場合は、県の費用負担はありません。
- ② 以下の項目は参加者の自己負担となります。
 - ・パスポート取得費
 - ・Wi-Fi 機器賃借料、eSIM 利用料
 - ・朝食以外の食費（3万円程度）
 - ・現地での土産品等の買い物

10. プログラム終了後のアンケートへの回答及び出前講座への協力について

- (1) 本事業参加者に対して派遣後に当事業に関するアンケートを実施しますので、ご回答をお願いいたします。
- (2) 派遣後、参加者の在籍校のうち本島内の2校で研修報告会兼平和学習講座の開催も予定しています。当該2校に在籍する生徒以外（本島在住の生徒に限る）は他校に出向いて共同で報告会を行うことを想定していますので、各学校及び保護者におかれましては機会の提供についてご配慮・ご協力をお願いします。

11. 問い合わせ

応募要件、選考方法等について不明な点があれば、下記にお問い合わせください。

沖縄県 文化観光スポーツ部 交流推進課（担当：新里）

TEL：098-866-2479 / FAX：098-866-2960

E-mail：aa082400@pref.okinawa.lg.jp

「世界のウチナーンチュを通した平和啓発交流事業（学生交流）」参加者募集ページ：
<https://www.pref.okinawa.jp/bunkakoryu/koryu/1009802/1009835/index.html>